

原著論文

長野県の閉鎖・休業スキー場に共通する傾向 —営業中のスキー場との差異に関する統計的解析—

増田 知之* 呉羽 正昭**

Elucidation of the Tendency Common to Closed Ski Fields in Nagano Prefecture, Japan

Tomoyuki MASUDA* and Masaaki KUREHA**

Abstract

Japan's skiing population has declined sharply over the last two decades, consequently the managements of ski fields have deteriorated and many ski fields have been temporarily or permanently closed. However, it is unclear what factors affect the closure of ski fields. In order to block the closure of ski fields and explore their survival methods, it is essential to clarify the tendency common to closed ski fields. In this study, we restricted the survey area to Nagano Prefecture, Japan and statistically compared open and closed ski fields with more than 10 factors. As a result, there were significant differences in 4 factors related to the size of ski fields. We also found that altitude differences and longest downhill distances have been correlated with skier's satisfaction for ski fields. These results suggest that the risk of closure of ski fields may be higher with smaller scale and therefore lower level of satisfaction of skiers. Interestingly, there were no significant differences in open and closed ski fields with respect to distances from interchanges and degrees of difficulty of ski slopes. These results also suggest that these two factors may be independent of the closure of ski fields. Taken together, our results may be useful for considering the survival of ski fields in Japan in the future.

Keywords : Closure, Ski field, Survival, Winter tourism, Japan

1. 研究目的

日本では、1980年代から1990年代初頭にかけてのバブル経済の中、リゾート開発ブームが生じ、スキー場の開発は活性化し、スキー人口は爆発的に増加した。しかしながら、バブル経済の崩壊後、スキー場の開発は急速に減少するとともに、スキー人口は1993年の1,770万人をピークとして減少に転じ、2014年には480万人まで落ち込んだ¹⁾。さらに、スキー人口の急減に伴い、スキー場の経営主体の収入は激減し、スキー場経営は悪化の一途をたどった。多くの経営主体は経営の立て直しやスリム化に追われ、売却・倒産といった

動きが活発化した²⁾。今日までに、経営主体の変更は全国の営業中のスキー場（以下、営業スキー場）の6割以上でみられ³⁾、閉鎖・休業を余儀なくされる例は現在も後を絶たない。

国という大きな単位で閉鎖・休業スキー場に着目し、営業スキー場との違いを定性的・半定量的に解析した研究は、過去に2つ存在する⁴⁾⁵⁾。Falk (2013)⁴⁾は、オーストリアの索道経営会社の存続に関連する要素について、索道経営会社の企業としての特性、立地特性、およびマクロ経済的な要因という3点から分析した。その結果、人工降雪システムを早く導入していると存続すること、平均標高が1,700 m以上のスキー場では

原稿受付日 2018年8月10日 原稿受理日 2018年10月22日

* 筑波大学医学医療系 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

** 筑波大学生命環境系 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

* Faculty of Medicine, University of Tsukuba, 1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki, Japan (305-8577)

** Faculty of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, 1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki, Japan (305-8572)

Table 1 Factors used for analyses 表1 分析に用いた属性・指標

属性・指標	データの取得先	備考
閉鎖・休業年		
運営主体の名称		
公営・民営の別	スキー場等現況調査結果(長野県)	閉鎖・休業年に関しては、閉鎖したスキー場については休業開始年ではなく閉鎖年を、休業中のスキー場については休業年を採用した。
ナイター営業の有無		
索道種類別基数		
索道総延長距離		
開設年	昭和61年度鉄道要覧, スキー場等現況調査結果(長野県)	1986年度以降のもので、長野県の資料に開設年が記載されている場合には、長野県の資料に記載された年を優先して記載した。
平均最大積雪量		信濃毎日新聞に掲載されたスキー場情報(1999年112日, 2000年113日)から、2年間の平均値を出した。1999年のデータが無いものについては、2000年単年のデータを示した。
平均稼働日数	スキー場だより(信濃毎日新聞)	
コース比率(初・中・上級)		S GUIDE 2001 に記載がない場合、全国スキー場ガイド1999(山と溪谷社)、全国グレンデガイド 2003(山と溪谷社)、およびウェブサイト(志賀高原 18 SKI AREA, 志賀高原リゾートエリア, さわやか信州旅.net)の記事を参考にした。
最長滑走距離	S GUIDE 2001(山と溪谷社)ほか	
ベース標高		
標高差		
ICからの距離	S GUIDE 2001(山と溪谷社)ほか	詳しくは研究方法 2.1 および 2.2 参照。
コース満足度	長野県スキー場ランキング満足度 TOP83	http://4travel.jp/domestic/area/koushinetsu/nagano/ski/
総合満足度	(フォートラベル)	

閉鎖リスクが小さいこと、経済的な不況の時期では閉鎖リスクが高いこと、積雪量と閉鎖との間には有意な関係がないことを指摘した。呉羽(2014)⁵⁾は、日本国内のスキー場における閉鎖・休業状況を半定量的に分析・評価した。その結果、閉鎖・休業したスキー場には小規模なものが多いこと、1990年代半ば以降のスキー人口の減少に伴い、大規模で人気の高いスキー場の混雑が解消した結果、近隣のスキー場に流れるスキーヤーが大幅に減少したこと(近接逆効果)、「平成の大合併」で市町村の合併が進んだ結果、複数のスキー場を抱え込む新市町村が、スキー場をリストラシ、経営のスリム化を目指していることを指摘した。

しかしながら、国もしくは地方単位で閉鎖・休業スキー場と営業スキー場の違いを定量的に解析し、その違いを明らかにした研究は、筆者らの管見の限り、未だ一例も見当たらない。定量的な統計解析の信頼性を担保するためには、同一の機関が、同一の基準で分析したデータを用いることが前提となる。それゆえ、国や地方といった大きな地域単位で、スキー場に関する精度の高い定量解析を行うことは非常に難しい。しかし、長野県の場合、1986年から毎年、同県が主体となって県内のスキー場に関する詳細な基礎資料を公開している。この資料に基づいて分析地域を同県に限定し

た場合、信頼性の高い定量解析が可能である。さらに、同県は、北海道と1, 2を争うスキー場の多い県であり³⁾⁶⁾、1998年には冬季オリンピックを成功させた「スキー王国」として知られており、正確な統計解析を行ううえで十分な例数を確保することが可能である。また、同県は、北海道と異なり、大都市からのアクセスに優れた位置条件を有しているため、地元資本だけでなく都市資本によるスキー場もバランス良く存在し、スキー場の動向を精査するうえでも理想的な存在である。以上より、長野県は、閉鎖・休業スキー場と営業スキー場の違いを定量的に解析するうえで最適なモデル県であり、同県に限定した解析から、信頼性と精度の高い解析結果が期待できる。

本研究では、2000年⁷⁾から2015年に渡る16年間のデータに基づき、長野県内の閉鎖・休業スキー場⁸⁾と営業スキー場を様々な角度から比較・検討し、閉鎖・休業スキー場にみられる特徴や共通点を明らかにすることを目的とする。なお、本研究では、以下に述べる長野県が集計した資料を分析に用いたため、スキー場の区分は同県が用いるものに従った。それゆえ、本研究で示す長野県に存在するスキー場数は、先行研究⁵⁾のものとは異なっている。

2. 研究方法

2.1 閉鎖・休業スキー場の分析指標

2000年から2015年までの16年の間に、閉鎖もしくは休業した長野県内のスキー場23箇所について、その経営およびゲレンデに関する属性・指標を、付録1と2にまとめた。属性・指標としては、先行研究^{3)~5)}でスキー場の閉鎖・休業への関連が指摘されたものも含め、入手可能なものを抽出した。全ての属性・指標のデータ取得先を表1にまとめた。施設の名称、閉鎖・休業年、運営主体の名称およびその公営・民営の別、ナイター営業の有無、市町村名称、索道種類別基数（閉鎖・休業前年）、索道総延長距離については、各々のスキー場の閉鎖・休業前年の同県の「スキー場等現況調査結果」報告書のデータに主に基づいた（ただし、公営・民営の別に関するデータのみ、閉鎖・休業前年および2000年のデータを用いた^{9)~17)}。開設年は、昭和61年度（1986年度）鉄道要覧のリフト運輸開始年を基準とした¹⁸⁾¹⁹⁾。平均最大積雪量については、対象年の気象状況に影響を受けやすいことを考慮し、信濃毎日新聞の「スキー場だより」欄に掲載された2シーズン分の積雪量（1999年および2000年）から平均最大積雪量を算出した。平均稼働日数についても、同じく対象年の積雪状況に左右されやすいことを考慮し、信濃毎日新聞に「スキー場だより」が掲載された期間における2シーズン分の稼働日数（1999年および2000年）から平均稼働日数を算出した²⁰⁾²¹⁾。コース比率、最長滑走距離、ベース標高、標高差については、全国のスキー場のガイドブックであるS GUIDE 2001（山と溪谷社）のデータに基づいた²²⁾。ただし、S GUIDE 2001に記載のないものについては、全国スキー場ガイド1999（山と溪谷社）および全国ゲレンデガイド2003（山と溪谷社）の記事を参考にした²³⁾²⁴⁾。高速道のインターチェンジ（IC）からの距離については、S GUIDE 2001の記事に基づいた²²⁾。ただし、S GUIDE 2001に記載のないものについては、全国スキー場ガイド1999および全国ゲレンデガイド2003の記事を一部参考にした²³⁾²⁴⁾。さらに上記のいずれの文献にもデータの見当たらない5箇所のスキー場（美しの国、聖山パノラマ、笠岳、前山、斑尾高原豊田）については、国土地理院公開の地理院地図（<https://maps.gsi.go.jp/>）の計測機能を用いて計測した。地理院地図の使用に際しては、2001年以降に新設されたIC、ETC専用スマートIC、および新設道路は存在しないものとみなして算出した²⁵⁾。

2.2 営業スキー場の分析指標

2015年の長野県内の営業スキー場85箇所について、その経営およびゲレンデに関する属性・指標を、付録3と4にまとめた。2015年時点での施設名称、運営主体の名称およびその公営・民営の別（2015年と2000年の時点）、ナイター営業の有無、市町村名称、索道種類別基数、索道総延長距離については、2000年および2015年の同県の「スキー場等現況調査結果」報告書に基づいた⁹⁾¹⁵⁾¹⁶⁾。開設年、平均最大積雪量、および平均稼働日数については、閉鎖・休業スキー場と同様のデータソースに基づいた²⁶⁾。コース比率、最長滑走距離、ベース標高、標高差については、主にS GUIDE 2001のデータに基づいた²²⁾。S GUIDE 2001に記載のないものについてはウェブサイト（志賀高原18 SKI AREA、志賀高原リゾートエリア、さわやか信州旅.net）の記事を参考にした^{27)~29)}。ICからの距離については、閉鎖・休業スキー場と基準を同一にするために、S GUIDE 2001の記事に基づいた²²⁾。S GUIDE 2001に記載のないものについては、全国スキー場ガイド1999、全国ゲレンデガイド2003、ニッポンのゲレンデ2015（実業之日本社）、およびさわやか信州旅.netの記事を一部参考にした²³⁾²⁴⁾²⁹⁾³⁰⁾。さらに上記のいずれの文献・ウェブサイトでもデータの見当たらない4箇所のスキー場（サンバレー、丸池、蓮池、木戸池）については、閉鎖・休業スキー場の場合と同様に、国土地理院公開の地理院地図（<https://maps.gsi.go.jp/>）の計測機能を用いて計測した。その際、2001年以降に新設されたIC、ETC専用スマートIC、および新設道路は存在しないものとみなして算出した²⁵⁾。コース満足度および総合満足度については、フォートラベル株式会社がウェブ上で公開した「2015長野県スキー場人気ランキングTOP83」に掲載された5段階評価を引用した³¹⁾。

2.3 スキー場規模の定義と分類

バブル期以降の研究でスキー場の規模を分類する基準を示している文献は2つ存在する³²⁾³³⁾。どちらも北海道のスキー場を対象としており、索道施設1基のみのスキー場を小規模スキー場、複数の索道を持つが、ゴンドラ・クワッドリフトといった大量高速索道施設を持たないスキー場を中規模スキー場、大量高速索道施設を持ち、最長滑走距離が2 km以上あるスキー場を大規模スキー場として分類している。しかしながら、この分類基準は長野県のスキー場の実情にそぐわない面がある。例えば、この基準に倣って分類すると、一般に中規模スキー場として認識されている小海リエッ

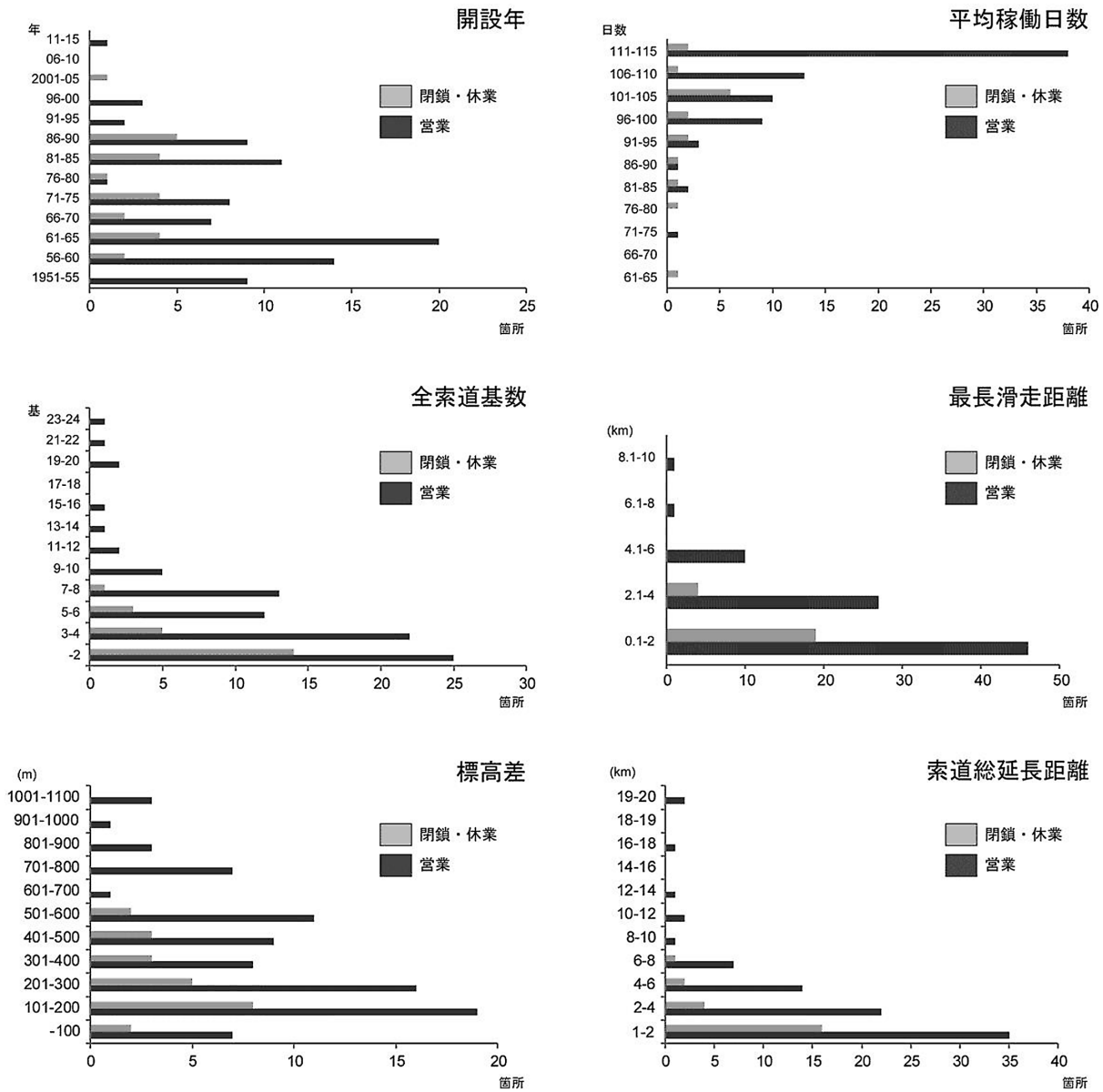


Fig. 1 Distribution of values of 6 factors in open and closed ski fields
 図1 閉鎖・休業および営業スキー場における6つの属性・指標値の分布

クススキーバレーや志賀高原東館山は、大規模スキー場に分類される。さらに、武石番所ヶ原や霧ヶ峰といった小さなローカルスキー場は、この基準に倣うと索道施設2基を有しているために、中規模スキー場として分類されてしまう。そこで本稿では、長野県内のスキー場を独自の基準を設けて大・中・小の3つの規模に分類した。すなわち、索道施設を3基以上もち、索道総延長距離が1,500 m以上あるスキー場を中規模スキー場と定義し、この基準を満たさないものを小規模スキー場として分類した。また、6基以上の索道施設を有し（そのうち2基以上がゴンドラ・クワッドといっ

た大量高速索道施設）、索道総延長距離が5,000 m、標高差が400 mを超えるスキー場を大規模スキー場として分類した。この新基準に則った場合、大規模スキー場は、分析対象となる全108箇所のスキー場のうち、野沢温泉、HAKUBA VALLEY白馬八方尾根といった16箇所のスキー場に限定され、一般的な認識を反映した区分となった。

2.4 名称変更の状況

1986年から2015年までの30年間の長野県の報告書のデータに基づき^{9)~15)34)35)}、閉鎖・休業スキー場と営

Table 2 Results of statistical analyses by Mann-Whitney U test
表2 マン・ホイットニーのU検定の結果一覧

属性・指標	p 値	平均値(営業スキー場)	標準誤差	平均値(閉鎖・休業スキー場)	標準誤差
開設年	0.0426	1970	1.45	1976	2.46
平均稼働日数	0.000666	106.6	0.943	97.12	3.10
ICからの距離	0.973	27.75	1.88	29.32	4.05
全索道基数	0.00243	5.424	0.50	2.696	0.37
初級コース率	0.248	38.69	1.62	35.52	3.21
中級コース率	0.103	40.11	1.40	45.09	3.01
上級コース率	0.710	20.96	1.14	19.39	2.00
平均最大積雪量 (cm)	0.170	223.0	8.55	194.9	12.6
最長滑走距離 (km)	0.0322	2.399	0.198	1.543	0.226
ベース標高 (m)	0.178	1,210	45.5	1,070	84.6
標高差 (m)	0.0497	394.0	28.2	271.3	33.2
索道総延長距離 (m)	0.00512	3,795	413	1,811	340

業スキー場の名称変遷を詳細に追い、付録5と6にまとめた³⁶⁾。

2.5 統計解析

2.5.1 閉鎖・休業スキー場と営業スキー場のデータ比較

得られた閉鎖・休業スキー場と営業スキー場の12個の属性・指標（開設年、平均稼働日数、ICからの距離、全索道基数、初級コース率、中級コース率、上級コース率、平均最大積雪量、最長滑走距離、ベース標高、標高差、索道総延長距離）について、マン・ホイットニーのU検定を用い、両群のデータに有意な差があるか検証した。

2.5.2 統計解析

最長滑走距離・標高差とスキーヤーのコース満足度・総合満足度との相関を調べるために、コース満足度については営業スキー場72箇所、総合満足度については営業スキー場74箇所のデータを用いて、無相関検定を行った³⁷⁾。また分析したスキー場全てを対象に、平均最大積雪量と平均稼働日数との相関も同検定を用いて調べた。

3. 結果

上記12個の属性・指標について、マン・ホイットニーのU検定を用いて検証した結果、6個の属性・指標（開設年、平均稼働日数、全索道基数、最長滑走距離、標高差、索道総延長距離）について、有意水準5%で両群間に有意差がみられた（図1と表2）。さらに、無相関検定の結果、最長滑走距離とコース満足度、標高差

とコース満足度、最長滑走距離と総合満足度、標高差と総合満足度、ならびに平均最大積雪量と平均稼働日数との間に、正の相関がみられることが判明した（表3）。

公営率の変遷については、運営主体が公営のスキー場の割合を追った。閉鎖・休業スキー場については、2000年の時点で5箇所（22.7%）のスキー場が公営であったが、閉鎖・休業の時点でも4箇所が公営のままであった（17.4%）。その一方で、営業スキー場については、2000年の時点で18箇所（21.8%）が公営だったのに対して、2015年では10箇所（11.8%）に半減していた。

ナイター営業に関しては、各スキー場におけるナイター営業の有無を調べ、その割合を調べた（付録1と3）。その結果、2000年の時点でナイター営業していたスキー場は、閉鎖・休業スキー場では6箇所（26.1%）に過ぎぬ一方で、営業スキー場では半数近い37箇所（43.5%）でナイター営業していた。

名称の変更状況に関しては、分析期間中に名称変更を行ったスキー場46箇所のうち、閉鎖・休業スキー場の占める割合は23.9%（11箇所）であり、この割合は、

Table 3 Results by tests for non-correlation
表3 無相関検定の結果一覧

対象となる属性・指標	p 値
最長滑走距離とコース満足度	4.69E-05
標高差とコース満足度	0.000720
最長滑走距離と総合満足度	8.97E-08
標高差と総合満足度	3.98E-07
平均最大積雪量と平均稼働日数	6.78E-05

分析対象の全スキー場108箇所における閉鎖・休業スキー場の占める割合21.3% (23箇所) とほぼ変わらなかった。

4. 考察

本研究の分析期間内に閉鎖・休業した23箇所のスキー場は、1つ1つを個別に見ていけば、それぞれがさまざまな事情を抱えて閉鎖・休業に追い込まれたのであろう。この中には、気象状況によって経営悪化を招いた例もあるかもしれない。積雪量が多過ぎる場合、スキー客のアクセスしづらさを招くだけでなく、駐車場やアクセス道路の除雪費用がかさむ分、運営資金を圧迫し、スキー場経営において負の要素になりうる可能性が考えられた。しかしながら実際には、統計解析の結果、閉鎖・休業スキー場では、営業スキー場よりも平均最大積雪量がむしろ少ない傾向にあった(営業スキー場で223.0 cm, 閉鎖・休業スキー場で194.9 cm, 表2参照)。積雪量に統計的な有意差がみられない点では、オーストリアのスキー場を対象としたFalk⁴⁾の先行研究と本研究の結果は同じであった。一方で、閉鎖・休業スキー場の平均稼働日数は、営業スキー場よりも有意に少ないことも明らかとなった($p=0.000666$, 表2参照)。これに加えて本研究では、平均稼働日数と平均最大積雪量との間に正の相関があることも明らかにしており(表3)、以上の結果をまとめると、少雪のスキー場の方が閉鎖・休業に追い込まれやすい実態が浮かび上がってきた。白坂(1986)は、スキー場を企業的に経営するためには、約3ヶ月の滑走期間がなければ成立しにくいと述べているが³⁸⁾、それから30年が経ち、経済と社会に大きな変化を経験した現在の日本でも、スキー場が存続するためには、稼働日数が重要なポイントであることに変わりがないことを、本研究は定量的に証明したといえる。

全索道基数、最長滑走距離、標高差、および索道総延長距離は、いずれもスキー場の規模を示す属性・指標といえる。定量解析の結果、これらの項目全てにおいて、閉鎖・休業スキー場の方が営業スキー場よりも有意に値が小さく(表2)、スキー場の規模が閉鎖に大きな影響を与えたことを示す結果となった。この結果は、国単位での半定量的な解析結果⁵⁾と同じであり、その結果を定量的に裏付けたともいえる。実際、本研究の分析期間内に閉鎖・休業したスキー場全てが、中小規模に分類されるスキー場であった(付録2参照)。だからといって、ゴンドラ・クワッドリフトといった

大量高速索道施設を複数有している大規模スキー場の経営が今後も安泰とはいえない可能性もある。クワッドリフトの維持には甚大な整備費用がかかるため、スキー場の運営を圧迫するからである。一部のスキー場では、その維持コストの削減を目指して、クワッドリフトを従来型(非分離型)の高速リフトに付け替える動きもある³⁹⁾。

本研究では、営業スキー場の開設年の平均が1970年であるのに対し、閉鎖・休業スキー場の平均は1976年であり、営業スキー場の開設年が有意に古いことが明らかとなった($p=0.0426$, 表2参照)。この結果は、全国のスキー場を対象とした先行研究⁵⁾の結果と異なっており、大変興味深い。全国と長野県の結果の相違には、さまざまな理由が考えられるが、冒頭で述べたように、同県が全国で1, 2を争うスキー県、スキー王国であることも影響しているかもしれない。長野県には古くからスキー文化が根付いており、1912年に同県飯山町(現飯山市)にスキーが伝承されて以来、長い歴史を有する⁴⁰⁾。そのため、同県には恵まれた条件を有する伝統的なスキー場が多く、そうしたスキー場が今日でも比較的多くのスキーヤーを惹きつけている。こうした伝統の長さが、営業スキー場の平均開設年の古さを反映しているとも考えられる。

最寄りの高速道ICからの距離に関しては、両群間に有意差はみられなかった($p=0.973$, 表2参照)。長野県の場合、大都市圏からの距離がある分、スキー場までのトータルの距離を考えると、ICを降りてからスキー場までの距離は高速道の走行距離と比較して短く、集客に影響を与えにくい要素なのかもしれない。むしろ、スキーヤーにとって実質的な問題となるのは、ICからの距離よりもスキー場までの道路状況であろう。具体的には、道幅、標高差(登坂角)、路面の凍結・除雪状況、および渋滞の有無といった要素を挙げることができる。これらの要素は、いずれもスキー場へのアクセス難易度を左右する重要な要素であるが、ICからの距離データでは推し量ることができない。閉鎖・休業スキー場を例に挙げるならば、蓼科アソシエイツ、美しの国、聖山パノラマといったスキー場は、ICからの距離もさることながら、その道程の大半は狭く険しい道であり、スキーヤーにとっては距離以上にアクセス難度の高いスキー場であったと考えられる。このことがこれらのスキー場の閉鎖に影響を与えたのかもしれない。

初・中・上級コース率に関しても、両群間で有意な差はみられなかった(表2参照)。スキー場の難易度自

体は、積雪量や最長滑走距離といった要素と比較して、運営や集客にあまり影響を与えないのかもしれない。その一方で、最長滑走距離と標高差は、営業スキー場で有意に大きいことが判明した ($p = 0.0322$ および 0.0497 , 表2参照)。最長滑走距離と標高差はスキーヤーのコース満足度に有意に相関していることを考え併せると(表3)、本研究のこの結果は、利用者のコース満足度がスキー場の存続に影響を与えることを初めて統計的に明らかにしたものと言える。

ナイター営業に関しては、営業スキー場でのナイター営業率が、閉鎖・休業スキー場と比較して極めて高かった。これは、閉鎖・休業したスキー場の多くが元々中小規模のスキー場ゆえに、ナイター設備が無い、もしくはナイター営業を継続して運営する財政的基盤が無いことに起因すると考えられる。大鰐スキー場の事例⁴¹⁾にみるように、ナイター営業は平日での採算性が特に低く、不採算部門として削減対象になりやすい側面を持つ。その一方で、マックアースの取り組み⁴²⁾にみられるように、LED照明による省エネ化、LEDイルミネーションを用いたスキー客への演出といった独自の工夫と投資次第で、ナイター営業をプラス要素に転じさせることも可能である。これまでの常識に捉われない集客アイデアとして、今後のナイター営業の活用を期待したい。

公営率の変遷については、予想通りの結果であった。すなわち、2000年の時点で公営だったスキー場のうち、民営化された9箇所については、1箇所のみ閉鎖に留まり8箇所は存続したが、民営化されなかった15箇所に関しては、そのうち4箇所が閉鎖された。残る11箇所の公営スキー場も、霧ヶ峰やさかえ倶楽部のように毎年の赤字を公費で賄う状態が続いている³⁸⁾。これらの公営スキー場は、今後、民間企業の引き受け先がみつからずに再生不能となれば閉鎖するしかない。しかしながら、閉鎖後にも厳しい状況が待ち受けており、容易に閉鎖の決断もできない。閉鎖した場合には、冬期の雇用問題が生じることに加え、国有林を使用している場合には原状回復義務が生じるために、リフトの撤去や植林に膨大な費用がかかることになる³⁹⁾。

名称変更の状況に関しては、両群で目立った差はみられなかった。閉鎖・休業したスキー場に目を向けると、レーシングキャンプ野辺山と牧の入スノーパークでは4回、乗鞍高原いがやでは5回も名称変更が行われており、せわしく名称変更するうちに閉鎖・休業に至った様子がうかがえる。名称変更の理由としては、イメージチェンジによる集客増を目指したケースが多

いと考えられる。しかしながら、新名称になった結果、スキー場の認知度が下がり、さらなる集客減を呼んでいる可能性も否定できない。また、名称変更に伴う諸費用(広告費用、パンフレット作成費用、看板等の付け替え費用)も財政負担となり、経営を悪化させた可能性もある。なお、今回の分析期間内では、ネーミングライツ(命名権)導入による名称変更は含まれていなかった。しかしながら、分析期間後にあたる2017年11月には、HAKUBA VALLEY白馬五竜で国内初のスキー場名称のネーミングライツ契約が結ばれた⁴³⁾。現在、長野市も戸隠スキー場のネーミングライツパートナー(命名権者)を募集中である⁴⁴⁾。ネーミングライツ導入によって、スキー場運営主体は、一定の収入増を見込めるため、今後多くのスキー場が導入に踏み切ることが予想される。

以上のような統計的解析から明らかになった事実以外にも、閉鎖・休業スキー場に共通する傾向をいくつか挙げる事ができる。たとえば、今回の閉鎖・休業スキー場の中には、呉羽(2014)⁵⁾の指摘する近接逆効果による集客減少で、閉鎖・休業に追い込まれたと思われるものも多い。例えば多くの大規模スキー場を擁する白馬エリアでは、サンアルピナ青木湖、白馬ハイランドスノーパーク、HAKUBA VALLEY白馬みねかたといった小中規模のスキー場が相次いで閉鎖・休業している。同じく多くのスキー場を擁する志賀高原エリアでは、その玄関口に位置するかんばやしスキー&スノーボードパークとごりん高原、エリア内の笠岳、前山も閉鎖・休業しており、特に笠岳と前山は近接逆効果の影響を受けた典型的な例であろう。

5. おわりに

日本では、この20年間にスキー人口は急減し、その結果、スキー場の経営は悪化し、多くのスキー場が閉鎖するようになった。どのような要素がスキー場の閉鎖に影響を及ぼしているのか、定量的に明らかにするため、本研究では分析地域を長野県に限定し、十数個の要素について営業スキー場と閉鎖スキー場を定量的に比較した。その結果、スキー場の規模に関する4つの要素に有意差がみられ、規模が小さく、利用者の満足度の低いスキー場ほど閉鎖リスクが高いことが示唆された。その一方で、高速道ICからの距離、ならびにスキー場の難易度に関しては有意差がみられず、これらの要素はスキー場の閉鎖に影響を及ぼさないことが示唆された。また、運営主体の公営率を分析した結果から、赤字の続く公営スキー場に関しては、余力のあ

る民間企業が引き受け先にならない限り、スキー場の閉鎖に歯止めをかけることが難しいことが浮き彫りとなった。本研究の結果が、ただちに日本全国のスキー場の状況に当てはまるとは限らないが、今後の日本のスキー場の在り方および存続を模索するうえで貴重な知見となることを願ってやまない。

謝 辞

本研究は日本学術振興会の科学研究費基盤研究B(課題番号15H03274および15H02765)の助成を受けたものである。また、分析にご協力いただいた佐々木雅張氏(佐々木学習塾, 香川県高松市)に心より感謝いたします。

文献及び註

- 1) 日本生産性本部. レジャー白書2014-2015. 2014-2015. 日本生産性本部. スノーボード人口を加えたスキー・スノーボード人口も1998年の1,800万人をピークに減少傾向で推移し, 2014年で760万人となった.
- 2) 高梨光. スキーリゾート再生のための市場分析. 月刊レジャー産業資料. 2011, 44(4), p.76-83.
- 3) 呉羽正昭. スキーリゾートの発展プロセス: 日本とオーストリアの比較研究. 二宮書店. 2017, p.66-86.
- 4) Falk, M. A survival analysis of ski lift companies. *Tourism Management*. 2013, 36, p.377-390.
- 5) 呉羽正昭. 日本におけるスキー場の閉鎖・休業にみられる地域的傾向. *スキー研究*. 2014, 11(1), p.27-42.
- 6) スキー場の捉え方(例: 志賀高原のスキー場を1つと捉えるか否か)によってスキー場数に複数の見解があることに加えて, 分析する年度によってもその数に変動があるため, 北海道と長野県, どちらにスキー場が多いとは一概に言えない. そのため, 本文ではこのように記した.
- 7) 一般的に, スキー場の経営年は年をまたがっている. 本研究では年度を採用し, 年度を年と表記する. すなわち, 2015年という場合には, 2015年秋から2016年春までを指す.
- 8) 休業中のスキー場の場合, 数年の休業期間を経て閉鎖されることが多く, その場合には遡って休業開始年を閉鎖年と考えないといけない. この観点では休業と閉鎖を厳密に分けることは困難なため, 本研究では, これらを一括して「閉鎖・休業スキー場」と呼び, 取り扱うことにする.
- 9) 長野県商工部観光課. 平成12~14年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 2001-2003.
- 10) 社団法人長野県観光協会. 平成15年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 2004.
- 11) 長野県商工部産業振興課. 平成16年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 2005.
- 12) 長野県商工部信州ブランド・観光戦略局. 平成17年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 2007.
- 13) 長野県商工部産業政策課. 平成18年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 2008.
- 14) 長野県観光部観光企画課. 平成19~25年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 2009-2014.
- 15) 長野県観光部山岳高原観光課. 平成26~27年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 2015-2016.
- 16) 第3セクターや公社など, 関連団体が所有・経営する場合, 公営として分類した.
- 17) いくつか例外が存在する. 乗鞍高原いがやは2011年に閉鎖されたのち, Mt.乗鞍に併合され, その一部の「Mt.乗鞍スノースマイルエリア」として2011~2012年に営業されたが, 単体の独立したスキー場としては2011年に閉鎖されたので, 2011年を閉鎖年とした. 斑尾高原豊田は2002年開設につき, 平成14年度(2002年度)長野県スキー場等現況調査結果報告書のデータに基づいた.
- 18) 運輸省鉄道局. 鉄道要覧(昭和61年度). 電気車研究会. 1986. 長野県による「スキー場等現況調査結果」は1986年から存在しており, 1986年以降のスキー場の開設年については, 同県の報告書で把握可能である. それ以前の開設年の分析にこの要覧を用いた.
- 19) 蓼科アソシエイツについては, 1986年に仮オープンし, 1987年に本オープンしたため, 1986年を開設年とした.
- 20) 信濃毎日新聞. スキー場だより. 信濃毎日新聞社. 1999年12月8日 - 2000年3月28日, 2000年12月9日 - 2001年3月31日.
- 21) 「スキー場だより」の掲載期間が12月初旬から3月末に限られている関係上, ここに示す平均稼働日数には11月以前および4月以降での稼働日数は集計されていない. すなわち, 本研究では, 一般に「スキーシーズン」とみなされる期間内における営業状況を抽出し, 比較したものである.
- 22) 山と溪谷社編集部. S GUIDE 2001全国版. 山と溪谷社. 2000.
- 23) 山と溪谷社編集部. 全国スキー場ガイド1999. 山と溪谷社. 1998. 蓼科アソシエイツ, 姫木平, 和田

- 峠, 乗鞍高原いがや, 大町, 平谷高原, 聖高原, およびあさひプライム, 以上8箇所からICまでの距離(付録1と3), ならびに蓼科アソシエーツ, 姫木平, および美しい国のゲレンデデータ(付録2)はこの文献に基づいた。
- 24) 山と溪谷社編集部. 全国ゲレンデガイド2003. 山と溪谷社. 2002. サンアルピナ青木湖, 牧の入スノーパーク, HAKUBA VALLEY 鹿島槍, HAKUBA VALLEY白馬さのさか, および北信州木島平, 以上5箇所からICまでの距離(付録1と3), ならびに牧の入スノーパークと斑尾高原豊田のゲレンデデータ(付録2)はこの文献に基づいた。
- 25) S GUIDE 2001のデータと基準を同一にするために, 2001年以降に新設された道路設備は存在しないものとみなし, 距離を算出した。
- 26) 木曾駒ヶ岳の千畳敷には鉄道事業法の特殊索道が存在しないため, 経営主体の(株)中央アルプス観光に問い合わせた。その結果, 1971年にTバーリフトの認可があり, 運営開始したことが判明し, 同年を開設年とした。なお, 千畳敷の場合, 最長滑走距離と標高差には, 歩いて登る分を含めて付録4に記載した。
- 27) 志賀高原18 SKI AREA.
<http://www.shigakogen-ski.com/> (2015年4月23日 最終閲覧) 一の瀬ダイヤモンドのベース標高と標高差, ならびに一の瀬山の神のコース比率(付録4)はこのデータに基づいた。
- 28) 志賀高原リゾートエリア.
<http://www.shigakogen.co.jp/> (2018年2月5日 最終閲覧)
- 29) 長野県公式観光ウェブサイト・さわやか信州旅.net. <http://www.nagano-tabi.net/> (2015年4月21日 最終閲覧) やまびこの丘は2011年に北信州木島平から独立したため, やまびこの丘のデータの一部は, このデータに基づいた。
- 30) 実業之日本社編集部. ニッポンのゲレンデ2015. 実業之日本社. 2014. 武石番所ヶ原, 治部坂高原, および北竜温泉ファミリーからICまでの距離(付録3)はこの文献に基づいた。
- 31) 旅行のクチコミサイト. 2015長野県スキー場人気ランキング TOP 83. フォートラベル株式会社.
<http://4travel.jp/domestic/area/koushinetsu/nagano/ski/> (2015年9月7日最終閲覧)
- 32) 菊地達夫. 北海道におけるスキー場の立地特性. 北海道地理. 1994, 73, p.69-77.
- 33) 河西邦人. 公営スキー場の経営再生: ぴっぷスキー場を事例に. 札幌学院商経論集. 2006, 23(1), p.125-170.
- 34) 長野県商工部観光課. 平成5~11年度スキー場等現況調査結果. 長野県. 1993-1999.
- 35) 長野県商工部観光課. 昭和61~平成4年度スキー場現況調査結果. 長野県. 1986-1992.
- 36) 名称から国設が外れた程度の軽微な変更は除いた。
- 37) 85箇所の営業スキー場のうち, 「2015長野県スキー場人気ランキング TOP 83」において, コース満足度および総合満足度に評価値が掲載されたのは, それぞれ72箇所と74箇所だった。
- 38) 白坂蕃. スキーと山地集落. 明玄書房. 1986.
- 39) 浅山章. 決断迫られる公営スキー場. 日経グローバル. 2010, 161, p.10-21.
- 40) 飯山市教育委員会. 飯山スキー100年誌. 飯山市. 2012, p.22-239.
- 41) 木田宙. 大鰐町におけるスキー場の経営効率化に関する研究. 弘前大学人文学部卒業研究. 2008.
human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/img/pdf/research20/econ4.pdf (2018年7月27日最終閲覧)
- 42) 日本経済新聞. マックアース, 小樽に省エネスキー場ナイター照明をLEDに. 日本経済新聞社. 2017年11月21日.
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO23700420Q7A121C1L41000/> (2018年7月27日最終閲覧)
- 43) 日本経済新聞. 白馬五竜スキー場, エイブルと命名権契約. 日本経済新聞社. 2017年11月28日.
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO23951660X21C17A1L31000/> (2018年7月13日最終閲覧) HAKUBA VALLEY白馬五竜スキー場(株式会社五竜と株式会社大糸の2社で運営)のネーミングライツを株式会社エイブルが取得したため, 同スキー場の名称は, 2017年12月から「エイブル白馬五竜」と「エイブル白馬五竜IIMORI」に変更された。
- 44) 長野市. 長野市「戸隠スキー場」ネーミングライツ・パートナー募集要項. 2017.
www.city.nagano.nagano.jp/uploaded/attachment/113476.pdf (2018年7月13日最終閲覧)

Appendix 1 Information of closed ski fields in Nagano Prefecture 付録1 長野県内閉鎖・休業スキー場の経営データ

#	施設名称	市町村	開設年	閉鎖・休業年	平均稼働日数	公営	運営主体名称(閉鎖・休業前年)	公営	運営主体名称(2000年)	ナイター	ICからの距離(km)
1	レーシングキャンプ野辺山	南牧村	1984	2010	112	×	(有)レーシングキャンプ野辺山	×	(株)野辺山ハイランド	×	20.6(長坂)
2	蓼科アソシエイツ	佐久市	1986	2004	—	○	望月町	○	望月町	○	39.0(佐久)
3	姫木平	長和町	1975	2008	—	×	(株)五味観光開発	×	(株)五味観光開発	×	25.7(諏訪)
4	美しい国	上田市	1985	2009	—	○	武石村	○	武石村開発公社	×	29.2(東部湯の丸)
5	和田峠	長和町	1976	2008	64	○	長和町	○	和田村	×	19.2(岡谷)
6	木曽駒高原	木曽町	1964	2004	108	×	(株)木曽駒山荘	×	(株)木曽駒山荘	○	71.0(中津川)
7	御岳ロープウェイ	木曽町	1989	2010	113	×	(株)御岳ロープウェイ	×	(株)御岳ロープウェイ	×	83.0(中津川)
8	乗鞍高原いがや	松本市	1988	2011	105	×	乗鞍観光	○	安曇村	○	38.5(松本)
9	大町	大町市	1958	2008	89	×	大町リゾート	×	(株)大町観光	×	33.8(豊科)
10	サンアルピナ青木湖	大町市	1972	2009	104	×	(株)クロスプロジェクトグループ	×	(株)京急長野リゾート	×	38.5(豊科)
11	白馬ハイランドスノーパーク	白馬村	1972	2010	94	×	AOスポーツ企画	×	(株)教育企画センター	×	48.2(長野)
12	白馬みねかた	白馬村	1963	2014	96	×	(株)みねかた	×	(株)白馬館	×	50.0(長野)
13	聖山パノラマ	長野市	1966	2011	104	○	長野市	○	大岡村	×	20.0(麻績)
14	(志賀高原)笠岳	山ノ内町	1964	2009	—	×	(株)笠越スキーリフト	×	(株)笠越スキーリフト	×	28.8(信州中野)
15	(志賀高原)前山	山ノ内町	1959	2009	—	×	(株)志賀高原リゾート開発	×	(株)志賀高原観光開発	×	29.3(信州中野)
16	かんばやしスキー&スノーボードパーク	山ノ内町	1981	2007	94	×	(株)志賀高原観光開発	×	(株)志賀高原観光開発	×	14.3(信州中野)
17	スノーボードワールドハイツ	山ノ内町	1986	2008	103	×	(有)白い村観光開発	×	(株)北志賀共同開発	○	15.4(信州中野)
18	ごりん高原	山ノ内町	1987	2007	77	×	(株)プリンスホテル	×	(株)コクド	×	12.3(信州中野)
19	牧の入スノーパーク	中野市	1966	2012	103	×	(株)マックアースリゾート山ノ内	×	(株)大和観光興産	○	13.7(豊田飯山)
20	斑尾高原豊田	中野市	2002	2007	—	×	(株)斑尾高原カントリー	—	(2002年開業)	×	5.8(豊田飯山)
21	飯山国際	飯山市	1973	2001	84	×	(株)グリーンスタンプ	×	(株)グリーンスタンプ	×	10.0(豊田飯山)
22	信濃平	飯山市	1962	2001	98	×	(株)信濃平観光開発	×	(株)信濃平観光開発他	×	14.0(豊田飯山)
23	斑尾高原サンパティック	飯山市	1984	2014	103	×	(株)ブレイランド斑尾	×	(株)ブレイランド斑尾	○	14.0(豊田飯山)

Appendix 2 Data of closed ski fields in Nagano Prefecture 付録2 長野県内閉鎖・休業スキー場のゲレンデデータ

#	施設名称	索道種類別基数(閉鎖・休業前年)*	コース比率(初・中・上級)	平均最大積雪量(cm)	最長滑走距離(km)	ベース標高(m)	標高差(m)	索道総延長距離(m)	規模
1	レーシングキャンプ野辺山	P4	20/50/30	135	1.2	1,400	200	2,669	中
2	蓼科アソシエイツ	P1	20/50/30	—	0.8	1,730	150	758	小
3	姫木平	S1	40/40/20	—	0.4	1,300	106	464	小
4	美しい国	S1	30/45/25	—	0.5	1,240	140	455	小
5	和田峠	S1	40/30/30	120	0.8	1,537	130	392	小
6	木曽駒高原	Q1, P5	30/40/30	165	1.2	1,250	350	3,229	中
7	御岳ロープウェイ	G1, P3	30/40/30	235	4.0	1,570	580	4,682	中
8	乗鞍高原いがや	P1	80/20/0	200	0.7	1,305	95	634	小
9	大町	P2	35/45/20	190	1.2	930	120	892	小
10	サンアルピナ青木湖	T1, P4	37/42/21	248	3.5	740	500	3,370	中
11	白馬ハイランドスノーパーク	T1, P1	60/30/10	160	1.3	704	247	1,297	小
12	白馬みねかた	P2	10/70/20	165	1.2	840	210	1,508	小
13	聖山パノラマ	P2	20/70/10	170	1.2	1,097	343	930	小
14	(志賀高原)笠岳	Q1	25/75/0	—	0.5	1,670	80	406	小
15	(志賀高原)前山	P1	40/30/30	—	0.9	1,679	117	304	小
16	かんばやしスキー&スノーボードパーク	P2	30/50/20	145	0.9	779	262	889	小
17	スノーボードワールドハイツ	P3	60/30/10	230	1.5	820	230	1,160	小
18	ごりん高原	G2, P1	20/60/20	145	3.2	1,000	500	6,025	中
19	牧の入スノーパーク	Q1, T1, P5	40/40/20	200	1.5	650	500	5,034	中
20	斑尾高原豊田	Q1, P1	40/30/30	—	1.8	800	340	1,254	小
21	飯山国際	S4	40/50/10	225	2.0	450	300	1,827	中
22	信濃平	P2, S3	40/40/20	270	4.0	350	550	2,450	中
23	斑尾高原サンパティック	P2	30/60/10	310	1.2	770	190	1,015	小

*S: シングル, P: ペア, T: トリプル, Q: クワッド, G: ゴンドラ

長野県の閉鎖・休業スキー場に共通する傾向

Appendix 3 Information of open ski fields in Nagano Prefecture (1) 付録3 長野県内営業スキー場の経営データ (その1)

#	施設名称 (2015年)	市町村	開設年	平均稼働日数	公営	運営主体名称 (2015年)	公営	運営主体名称 (2000年)	ナイター	ICからの距離 (km)
1	小海リエックススキーバレー	小海町	1988	111	×	㈱シャトレーゼリゾート八ヶ岳	×	㈱松原湖高原開発	×	36.0(佐久)
2	シャトレーゼスキーリゾート八ヶ岳	川上村	1988	110	×	㈱シャトレーゼリゾート八ヶ岳	×	㈱アルバイカンントリークラブ	○	21.1(長坂)
3	八千穂高原	佐久穂町	1984	107	○	佐久穂町	○	八千穂村	×	36.0(佐久)
4	アサマ2000パーク	小諸市	1959	113	×	㈱渡辺パイプ	×	㈱高峰観光開発	×	20.0(小諸)
5	佐久スキーガーデン「バラダ」	佐久市	1994	100	×	㈱佐久平尾山開発他1社	×	㈱佐久平尾山開発	○	0.1(佐久平)
6	軽井沢プリンスホテル	軽井沢町	1960	113	×	㈱プリンスホテル	×	㈱コクト	○	13.0(碓氷軽井沢)
7	白樺高原国際	立科町	1964	113	○	立科町	○	立科町	×	30.0(諏訪)
8	白樺リゾート池の平スキーパーク	立科町	1964	106	×	㈱池の平ホテル	×	㈱池の平ホテル	×	25.1(諏訪)
9	しらかぼ2 in 1	立科町	1976	111	○	立科町	○	立科町	×	28.0(諏訪)
10	エコバレー	長和町	1981	112	×	㈱エコバレースキー場	×	㈱長門町国設スキー場開発	○	29.1(諏訪)
11	ブランシュたかやま	長和町	1985	110	○	㈱長和町振興公社	○	長門町	×	27.5(岡谷)
12	菅平高原スノーリゾート	上田市	1955	111	×	㈱ハーレススキーリゾート他4社	×	㈱菅平観光他5社	○	18.1(須坂長野東)
13	武石番所ヶ原	上田市	1982	97	○	㈱上田市地域振興事業団	○	武石村開発公社	×	35.0(東部湯の丸)
14	湯の丸	東御市	1961	113	×	㈱湯の丸観光開発	×	㈱湯の丸観光開発	×	14.0(東部湯の丸)
15	霧ヶ峰	諏訪市	1953	101	○	諏訪市	○	諏訪市	×	17.2(諏訪)
16	車山高原	茅野市	1965	113	×	㈱信州総合開発観光	×	㈱信州総合開発観光	○	28.3(諏訪)
17	白樺湖ロイヤルヒル	茅野市	1961	113	×	㈱鈴木商会	×	㈱白樺湖観光開発	○	23.7(諏訪)
18	ピラタス蓼科スノーリゾート	茅野市	1968	113	×	㈱北八ヶ岳リゾート	×	㈱日本ピラタス観光	×	25.6(諏訪)
19	蓼科東急	茅野市	1982	96	×	㈱東急リゾートサービス	×	㈱東急リゾートサービス	×	21.3(諏訪)
20	富士見パノラマ	富士見町	1987	112	○	㈱富士見町開発公社	○	㈱富士見町開発公社	○	5.0(諏訪南)
21	富士見高原	富士見町	1984	97	×	㈱富士見高原リゾート	×	㈱富士見高原保健地管理	○	7.2(小淵沢)
22	中央道伊那スキーリゾート	伊那市	1988	113	×	㈱クロスプロジェクトグループ	×	㈱ヤマウラ	○	11.0(駒ヶ根)
23	駒ヶ根高原	駒ヶ根市	1988	102	×	㈱中央アルプス観光	×	㈱駒ヶ根リゾート	○	2.5(駒ヶ根)
24	千畳敷	駒ヶ根市	1971	—	×	㈱中央アルプス観光	×	㈱中央アルプス観光	×	2.5(駒ヶ根)
25	ヘブンスそのはら Snow World	阿智村	1996	104	×	㈱ジェイ・マウンテンズ・セントラル	×	㈱阿智総合開発	×	2.0(園原)
26	治部坂高原	阿智村	1972	105	×	㈱治部坂観光	×	㈱治部坂観光開発	×	15.0(園原)
27	あららぎ高原	阿智村	1987	94	×	㈱あららぎ	○	浪合村	○	15.4(園原)
28	平谷高原	平谷村	1984	98	×	㈱みなみ信州平谷リゾート	×	㈱みなみ信州平谷リゾート	×	34.0(飯田)
29	きそふくしま	木曽町	1987	107	×	㈱アスモグループ	○	木曽福島町	×	73.0(中津川)
30	開田高原マイア	木曽町	1996	113	×	㈱アスモグループ	×	㈱開田高原開発	×	91.0(中津川)
31	やぶはら高原	木祖村	1952	104	×	㈱奥木曽グリーンリゾート	○	木祖村他	×	81.0(中津川)
32	おんたけ2240	王滝村	1961	113	×	㈱御嶽リゾート	○	王滝村	×	81.0(中津川)
33	聖高原	麻績村	1965	82	×	㈱聖高原リゾート	○	麻績村	×	6.0(麻績)
34	野麦峠	松本市	1981	112	×	㈱岳都リゾート開発	○	奈川村	×	44.4(松本)
35	Mt. 乗鞍	松本市	1961	111	×	㈱マックアース	×	㈱乗鞍観光他	×	40.8(松本)
36	あさひプライム	朝日村	1992	90	×	㈱樫山スノーテック	○	朝日村	○	15.0(塩尻)
37	HAKUBA VALLEY 爺ガ岳	大町市	1967	104	×	㈱大町温泉観光	×	㈱大町温泉観光	×	30.0(豊科)
38	HAKUBA VALLEY ヤナバスノーパーク	大町市	1972	98	×	㈱ヤナバ	×	㈱ヤナバ	×	38.0(豊科)
39	HAKUBA VALLEY 鹿島槍	大町市	1963	113	×	㈱鹿島槍	×	㈱三井観光開発	○	36.8(豊科)
40	HAKUBA VALLEY 白馬さのさか	白馬村	1962	99	×	㈱白馬さのさか	×	㈱佐野坂観光他	×	38.7(豊科)
41	HAKUBA VALLEY 白馬八方尾根	白馬村	1954	113	×	㈱八方尾根開発他1社	×	㈱白馬観光開発他5社	○	48.1(長野)

Appendix 3 Information of open ski fields in Nagano Prefecture (2) 付録3 長野県内営業スキー場の経営データ (その2)

#	施設名称 (2015年)	市町村	開設年	平均稼働日数	公営	運営主体名称 (2015年)	公営	運営主体名称 (2000年)	ナイター	ICからの距離 (km)
42	HAKUBA VALLEY Hakuba47 ウィンタースポーツパーク	白馬村	1990	112	×	㈱白馬フォーティセブン	×	㈱中京テレビリゾート企画	×	45.4(長野)
43	HAKUBA VALLEY 白馬五竜	白馬村	1956	112	×	㈱五竜他1社	×	㈱信州塩嶺高原開発他1社	○	43.3(長野)
44	HAKUBA VALLEY 白馬岩岳スノーフィールド	白馬村	1952	101	×	㈱白馬観光開発他2社	×	㈱白馬観光開発他3社	×	48.8(長野)
45	HAKUBA VALLEY つがいけ高原	小谷村	1960	109	×	㈱白馬館他3社	×	㈱白馬館他3社	○	53.9(長野)
46	HAKUBA VALLEY 白馬乗鞍温泉	小谷村	1960	99	×	㈱白馬アルプスホテル	×	㈱白馬アルプスホテル他2社	×	56.4(長野)
47	HAKUBA VALLEY 白馬コルチナ	小谷村	1960	110	×	㈱奥白馬高原開発	×	㈱奥白馬高原開発	○	59.5(豊科)
48	飯綱高原	長野市	1965	73	○	長野市	○	長野市	○	21.0(長野)
49	戸隠	長野市	1963	112	○	長野市	○	戸隠村	×	35.0(長野)
50	峰の原高原	須坂市	1973	106	×	㈱菅平峰の原グリーン開発	×	㈱峰の原スキー場	×	20.0(須坂長野東)
51	いっぴなリゾート	飯綱町	1981	94	×	飯綱東高原観光開発合同会社	×	㈱飯綱リゾート開発	○	18.0(信州中野)
52	黒姫高原スノーパーク	信濃町	1966	99	×	㈱マックアース	×	㈱黒姫観光開発他	×	3.7(信濃町)
53	タングラム・スキーサーカス	信濃町	1989	113	×	㈱東急リゾートサービス	×	㈱斑尾東急リゾート	○	17.0(信濃町)
54	山田温泉キッズスノーパーク	高山村	1958	84	×	山田温泉スキー場施設組合	×	㈱南志賀開発	×	19.8(須坂長野東)
55	YAMABOKU ワイルドスノーパーク	高山村	1962	103	×	㈱南志賀開発	×	㈱南志賀開発	×	23.2(須坂長野東)
56	戸狩温泉	飯山市	1960	111	×	㈱戸狩観光	×	㈱戸狩観光開発	○	17.0(豊田飯山)
57	北竜温泉ファミリー	飯山市	1962	95	×	学校法人人文化学園	×	学校法人人文化学園	×	13.0(豊田飯山)
58	斑尾高原	飯山市	1972	113	×	㈱アピラ	×	㈱斑尾高原開発	○	16.7(豊田飯山)
59	(志賀高原)サンバレー	山ノ内町	1955	—	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱法坂スキーリフト	○	23.3 km(信州中野)
60	(志賀高原)丸池	山ノ内町	1952	112	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱長野電鉄	○	24.0(信州中野)
61	(志賀高原)蓮池	山ノ内町	1964	109	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀高原蓮池リフト	×	24.5(信州中野)
62	(志賀高原)ジャイアント	山ノ内町	1956	113	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀山リフト	×	24.2(信州中野)
63	(志賀高原)発嘴ブナ平	山ノ内町	1956	110	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀山リフト	×	28.4(信州中野)
64	(志賀高原)東館山	山ノ内町	1960	109	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀山リフト	×	28.4(信州中野)
65	(志賀高原)西館山	山ノ内町	1967	113	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀高原ロープウェイ他	○	28.4(信州中野)
66	(志賀高原)高天ヶ原マンモス	山ノ内町	1960	113	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀高原観光開発	○	28.9(信州中野)
67	(志賀高原)タンネの森オコジョ	山ノ内町	1981	—	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀高原観光開発	×	28.9(信州中野)
68	(志賀高原)一の瀬ファミリー	山ノ内町	1963	113	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀高原観光開発	○	29.3(信州中野)
69	(志賀高原)一の瀬ダイヤモンド	山ノ内町	1971	—	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀高原ロープウェイ	○	29.3(信州中野)
70	(志賀高原)一の瀬山の神	山ノ内町	1973	—	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀高原ロープウェイ	×	29.3(信州中野)
71	(志賀高原)寺子屋	山ノ内町	1969	113	×	㈱志賀高原リゾート開発	×	㈱志賀山リフト	×	28.9(信州中野)
72	(志賀高原)木戸池	山ノ内町	1955	—	×	㈱木戸池温泉ホテル	×	㈱木戸池温泉ホテル	×	27.7(信州中野)
73	(志賀高原)熊の湯	山ノ内町	1959	113	×	㈱熊の湯リフト	×	㈱熊の湯リフト	○	28.9(信州中野)
74	(志賀高原)横手山	山ノ内町	1958	113	×	㈱横手山リフト	×	㈱横手山リフト	×	29.2(信州中野)
75	(志賀高原)渋峠	山ノ内町	1965	—	×	㈱横手山リフト	×	㈱渋峠リフト	×	29.2(信州中野)
76	(志賀高原)焼額山	山ノ内町	1983	113	×	㈱プリンスホテル	×	㈱コクド	○	30.6(信州中野)
77	(志賀高原)奥志賀高原	山ノ内町	1969	113	×	㈱奥志賀高原リゾート	×	㈱長野電鉄	×	36.5(信州中野)
78	よませ温泉	山ノ内町	1961	110	×	㈱マックアース	×	㈱よませリフト	○	11.6(信州中野)
79	竜王スキーパーク	山ノ内町	1961	113	×	㈱北志賀竜王	×	㈱竜王観光	○	15.4(信州中野)
80	小丸山	山ノ内町	1966	111	×	㈱北志賀藤田観光	×	㈱北志賀藤田観光	○	14.9(信州中野)
81	X-JAM 高井富士	山ノ内町	1973	107	×	㈱マックアース	×	㈱高井富士観光	○	15.0(信州中野)

長野県の閉鎖・休業スキー場に共通する傾向

Appendix 3 Information of open ski fields in Nagano Prefecture (3) 付録3 長野県内営業スキー場の経営データ (その3)

#	施設名称 (2015年)	市町村	開設年	平均稼働日数	公営	運営主体名称 (2015年)	公営	運営主体名称 (2000年)	ナイター	ICからの距離 (km)
82	北信州木島平	木島平村	1964	104	×	榑木島平観光	×	榑木島平観光	○	14.0(豊田飯山)
83	やまびこの丘	木島平村	2011	—	×	榑マックアース	—	(2011年開業)	×	16.0(豊田飯山)
84	野沢温泉	野沢温泉村	1951	113	×	榑野沢温泉	○	野沢温泉村	○	20.0(豊田飯山)
85	さかえ倶楽部	栄村	1996	102	○	栄村	○	栄村	×	35.0(豊田飯山)

Appendix 4 Data of open ski fields in Nagano Prefecture (1) 付録4 長野県内営業スキー場のゲレンデデータ (その1)

#	施設名称 (2015年)	索道種類別基数 (2015年)**	コース比率(初・中・上級)	平均最大積雪量 (cm)	最長滑走距離 (km)	ベース標高 (m)	標高差 (m)	索道総延長距離 (m)	規模	コース満足度	総合満足度
1	小海リエックススキーパレー	Q1, P4	40/50/10	135	2.5	1,400	380	3,504	中	3.19	3.55
2	シャトレーゼスキーリゾートハヶ岳	Q1, P2	50/30/20	135	1.3	1,400	220	1,753	中	2.50	2.40
3	八千穂高原	P4	40/40/20	165	1.3	1,630	200	2,144	中	2.75	3.16
4	アサマ2000パーク	Q1, P3	20/60/20	165	0.9	1,880	170	2,144	中	3.17	3.57
5	佐久スキーガーデン「バラダ」	P8	40/40/20	125	1.0	780	270	4,545	中	3.10	3.54
6	軽井沢プリンスホテル	Q2, T1, P8	50/30/20	150	1.2	940	215	6,611	中	3.40	4.01
7	白樺高原国際	G1, Q1, P1	50/40/10	193	1.3	1,550	300	2,626	中	3.25	3.22
8	白樺リゾート池の平スノーパーク	P2	50/30/20	180	0.5	1,425	70	620	小	—	—
9	しらかば2 in 1	Q1, P5	40/40/20	193	1.9	1,560	274	2,955	中	3.29	3.70
10	エコーパレー	Q1, T3, P4	30/50/20	189	2.5	1,450	400	4,220	中	3.50	3.57
11	ブランシュたかやま	Q1, P5	20/50/30	185	3.7	1,350	450	5,139	中	4.06	3.74
12	菅平高原スノーリゾート	Q4, T7, P8	20/60/20	160	6.0	1,250	400	10,959	大	4.33	3.76
13	武石番所ヶ原	P2	25/50/25	190	1.0	1,200	200	1,030	小	3.00	3.09
14	湯の丸	T1, P5	40/40/20	190	2.3	1,710	255	3,794	中	3.75	3.29
15	霧ヶ峰	P2	50/30/20	153	0.4	1,600	50	562	小	3.00	3.01
16	車山高原	Q3, P6	30/40/30	185	2.5	1,560	365	5,475	中	3.83	4.05
17	白樺湖ロイヤルヒル	Q2, P1	35/40/25	200	1.8	1,450	300	1,654	中	3.86	3.58
18	ピラタス蓼科スノーリゾート	G1, Q1, T1	40/40/20	165	4.0	1,760	480	3,460	中	3.77	3.65
19	蓼科東急	P1	30/60/10	140	0.8	1,310	90	297	小	2.83	3.04
20	富士見パノラマ	G1, P6	30/40/30	135	3.0	1,050	736	5,278	中	3.67	3.90
21	富士見高原	P3, S1	50/30/20	150	1.0	1,200	200	1,478	小	3.33	3.47
22	中央道伊那スキーリゾート	Q1, P1	50/40/10	200	1.2	876	210	1,300	小	2.50	2.85
23	駒ヶ根高原	P2	55/25/20	145	0.5	895	133	934	小	3.50	3.52
24	千畳敷	Tバー1	25/25/50	—	1.5	2,500	300	200	小	—	—
25	ヘブンスのはら Snow World	G1, Q1, P4	40/30/30	205	1.2	1,375	225	4,224	中	2.91	3.88
26	治部坂高原	P4	70/20/10	140	1.2	1,190	160	2,026	中	2.33	3.56
27	あららぎ高原	Q1, P1	80/10/10	140	1.2	1,140	180	1,130	小	3.00	3.27
28	平谷高原	P2	15/70/15	120	0.5	950	80	676	小	2.50	3.02
29	きそふくしま	Q1, T1, P2	30/40/30	213	4.6	1,200	704	2,963	中	3.17	3.58
30	開田高原マイア	Q1, P2	40/30/30	265	3.0	1,557	563	3,718	中	3.58	3.51
31	やぶのはら高原	Q1, P5	35/40/25	210	3.6	1,100	600	3,526	中	4.00	3.54
32	おんたけ2240	G1, Q3, P3	30/40/30	235	6.0	1,373	867	7,511	大	3.79	3.62
33	聖高原	P1	40/30/30	135	0.7	1,000	131	321	小	—	—
34	野麦峠	Q1, P3	30/40/30	233	4.0	1,400	730	3,598	中	3.62	3.35
35	Mt. 乗鞍	Q2, T1, P5	30/45/25	230	5.0	1,490	510	5,784	大	3.69	3.51
36	あさひプライム	P2	50/35/15	135	1.0	900	200	891	小	—	3.09
37	HAKUBA VALLEY 爺ヶ岳	P4	60/20/20	230	1.5	940	260	2,605	中	4.10	3.56
38	HAKUBA VALLEY ヤナバスノープーク	Q1	60/20/20	255	1.6	830	570	655	小	—	—
39	HAKUBA VALLEY 鹿島槍	Q3, P5	37/42/21	320	5.0	740	790	4,324	中	3.20	3.52
40	HAKUBA VALLEY 白馬さのさか	Q2, T1, P2	37/42/21	278	2.1	740	460	3,161	中	3.00	3.22
41	HAKUBA VALLEY 白馬八方尾根	G1, Q5, T3, P14	30/50/20	373	8.0	760	1,071	16,407	大	4.28	4.15
42	HAKUBA VALLEY Hakuba47 ウィンタースポーツパーク	G1, Q1, P4	30/40/30	340	5.9	820	780	5,904	大	3.73	3.93
43	HAKUBA VALLEY 白馬五竜	G1, Q3, P5	35/40/25	388	5.0	750	920	7,252	大	4.02	4.21
44	HAKUBA VALLEY 白馬岩岳スノーフィールド	G1, Q1, T1, P12, S1	30/50/20	298	3.8	750	539	12,248	大	3.46	3.73
45	HAKUBA VALLEY つがいけ高原	G1, Q9, T1, P8	40/40/20	420	5.0	800	880	19,090	大	3.87	3.97
46	HAKUBA VALLEY 白馬乗鞍温泉	T1, P9	30/50/20	305	2.5	700	600	7,214	中	3.67	3.52

Appendix 4 Data of open ski fields in Nagano Prefecture (2) 付録4 長野県内営業スキー場のゲレンデデータ (その2)

#	施設名称 (2015年)	索道種類 別基数 (2015年) **	コース比 率(初・ 中・上級)	平均 最大 積雪 量 (cm)	最長 滑走 距離 (km)	ペー ス標 高 (m)	標高差 (m)	索道総 延長距 離(m)	規 模	コース満 足度	総合満足 度
47	HAKUBA VALLEY 白馬コルチナ	Q2, P6	40/30/30	430	5.0	693	747	5,871	大	3.93	3.58
48	飯綱高原	Q1, T1, P4, S1	25/40/35	138	1.9	1,080	400	3,707	中	3.67	3.51
49	戸隠	Q2, P5	30/40/30	243	3.0	1,220	528	5,375	大	4.30	3.54
50	峰の原高原	P3	30/50/20	150	1.8	1,380	170	1,898	中	4.00	3.14
51	いいづなりリゾート	Q1, P2	40/35/25	185	2.6	900	600	3,611	中	4.00	3.55
52	黒姫高原スノーパーク	Q1, P7, S1	45/35/20	255	3.0	770	770	6,037	中	3.50	3.57
53	タングラム・スキーサーカス	Q2, P4	30/40/30	250	2.5	800	520	3,712	中	3.14	3.55
54	山田温泉キッズスノーパーク	トロイカ1	70/30/0	90	0.6	975	145	200	小	—	3.22
55	YAMABOKU ワイルドスノーパーク	P2, S1	30/40/30	240	2.8	1,500	274	1,692	中	4.00	3.55
56	戸狩温泉	Q4, P3, S1	30/40/30	275	3.0	400	650	5,894	大	3.77	3.74
57	北竜温泉ファミリー	P1, S1, T パー1	50/30/20	178	1.0	450	200	1,194	小	1.00	2.55
58	斑尾高原	Q2, T4, P5, S1	30/40/30	290	2.5	910	440	6,410	大	4.25	3.80
59	(志賀高原)サンバレー	Q1, P1, S1	20/60/20*	—	0.8*	1,390*	170*	1,119	中	—	—
60	(志賀高原)丸池	T1, P1	50/40/10*	210	0.8*	1,457*	110*	401	小	—	—
61	(志賀高原)蓮池	T1	70/30/0*	230	0.7*	1,481*	69*	421	小	4.00	3.09
62	(志賀高原)ジャイアント	P1	10/30/60	210	1.0	1,334	294	955	小	2.83	3.01
63	(志賀高原)発咄ブナ平	Q2	90/10/0*	245	1.5*	1,340*	228*	1,567	小	3.50	3.20
64	(志賀高原)東館山	G1	40/30/30*	278	3.5*	1,566*	442*	1,384	小	4.00	3.11
65	(志賀高原)西館山	Q2, T1	30/40/30*	210	1.7*	1,336*	403*	1,627	中	3.67	3.15
66	(志賀高原)高天ヶ原マンモス	Q1, T1, P1	40/45/15*	253	1.0*	1,673*	234*	1,528	中	3.75	3.44
67	(志賀高原)タンネの森オコジョ	Q1	45/40/15*	—	0.5*	1,660*	155*	466	小	—	—
68	(志賀高原)一の瀬ファミリー	Q2, P2	45/40/15*	253	3.2*	1,623*	323*	3,038	中	4.06	3.63
69	(志賀高原)一の瀬ダイヤモンド	Q1, T1	70/30/0*	—	0.6*	1,615	85	862	小	4.00	3.50
70	(志賀高原)一の瀬山の神	P1	50/50/0	—	0.8*	1,596*	111*	711	小	—	—
71	(志賀高原)寺子屋	Q1, P1	30/40/30*	270	0.9*	1,891*	152*	1,119	小	3.50	3.51
72	(志賀高原)木戸池	P1	60/30/10	—	0.3	1,614	45	378	小	—	—
73	(志賀高原)熊の湯	Q1, P4	40/30/30	263	1.3	1,690	260	3,727	中	3.75	3.54
74	(志賀高原)横手山	T1, P4, S2	40/40/20	278	4.0	1,750	555	5,122	中	—	—
75	(志賀高原)洪峠	P1	10/90/0	—	2.0	2,172	133	892	小	3.60	3.33
76	(志賀高原)焼額山	G2, Q3, P5	10/80/10	245	2.5	1,540	460	10,866	大	4.66	4.03
77	(志賀高原)奥志賀高原	G1, P5	20/60/20	245	3.0	1,460	540	6,065	中	4.38	3.68
78	よませ温泉	Q1, P3	30/50/20	225	1.9	750	465	2,863	中	3.00	3.09
79	竜王スキーパーク	G1, Q2, P9, S2	20/40/40	329	6.0	850	1,080	9,007	大	4.33	3.56
80	小丸山	P5, S3	60/30/10	205	2.0	850	400	4,000	中	3.25	2.85
81	X-JAM 高井富士	P5	40/40/20	235	2.2	700	350	3,392	中	3.50	3.09
82	北信州木島平	Q2, P5	40/40/20	205	3.0	469	802	5,369	大	2.75	3.53
83	やまびこの丘	Q1, P1	50/50/0	—	1.0	750	200	1,335	小	—	—
84	野沢温泉	G2, Q5, T3, P11	40/30/30	445	10.0	565	1,085	19,061	大	4.26	4.30
85	さかえ倶楽部	P3	20/60/20	320	1.5	395	410	1,812	中	4.50	3.46

*志賀高原リゾートエリアのデータによる。

**S: シングル, P: ペア, T: トリプル, Q: クワッド, G: ゴンドラ

長野県の閉鎖・休業スキー場に共通する傾向

Appendix 5 Historical transition of names of closed ski fields in Nagano Prefecture (1986~year before closing)

付録5 長野県内閉鎖・休業スキー場における名称の変遷 (1986年~閉鎖・休業前年まで)

#	名称の変遷(括弧内は変更年を示す)	名称変更回数
1	野辺山 — 野辺山ハイランド(1989)— 野辺山スポーツランド(2002)— 野辺山(2003) — レーシングキャンプ野辺山(2004~2009)	4
4	東美ヶ原高原美しの国 — 美しの国(1992~2008)	1
6	木曾駒高原 — 新和木曾駒高原(1990)— 木曾駒高原新和(1998)— 木曾駒高原(2005に名称を変更して営業準備をしていたが、結局そのまま休業)	3
8	猪谷(1988)— 乗鞍猪谷(1990)— いがや(1992)— 乗鞍高原いがや(1993)— 乗鞍いがや(1995)— 乗鞍高原いがや(2007~2010)	5
10	サンアルピナ青木湖 — サンアルピナ京急青木湖(1997)— サンアルピナ青木湖(2002~2008)	2
11	グリーンクラブ白馬 — 白馬ハイランド(1989)— 白馬ハイランドスノーパーク(2007~2009)	2
13	聖ヶ岡 — 聖山パノラマ(1998~2010)	1
16	上林温泉 — かんばやしスノーボードパーク(1995)— かんばやしスポーツパーク(1998)— かんばやしスキー&スノーボードパーク(1999~2006)	3
17	北志賀ハイツ — スノーボードワールドハイツ(1996~2007)	1
19	木島平(牧の入) — 北信州牧の入スノーパーク(1996)— 木島平 WEST(2007)— 北信州牧の入スノーパーク(2008)— 牧の入スノーパーク(2011)	4

Appendix 6 Historical transition of names of open ski fields in Nagano Prefecture (1986~2015)

付録6 長野県内営業スキー場における名称の変遷 (1986年~2015年)

#	名称の変遷(括弧内は変更年を示す)	名称変更回数
2	ハヶ岳ザイラーバレー(1988)— シャトレーゼスキーリゾートハヶ岳(2002~)	1
4	高峰高原 — あさま2000(1988)— アサマ2000(1990)— アサマパーク2000(1993)— アサマ2000パーク(1994~)	4
8	東白樺湖 — 白樺リゾート(1988)— 白樺リゾート池の平スノーパーク(2015)	2
12	菅平高原 — 菅平高原スノーリゾート(2015)	1
13	武石番所ヶ原 — 番所ヶ原(1992)— 武石番所ヶ原(2011~)	2
17	白樺湖八ヶ峰国際 — 白樺湖 ROYALHILL(1988)— 白樺湖ロイヤルヒル(1990)— 白樺湖 ROYALHILL(1993)— 白樺湖ロイヤルヒル(1998~)	4
18	日本ピラタス蓼科温泉 — ピラタス蓼科(1989)— ピラタス蓼科スノーリゾート(1998~)	2
24	千畳敷 — 中央アルプス千畳敷(1992)— 千畳敷(1995~)	2
25	ヘブンスそのはら(1996)— ヘブンスそのはら Snow World(2001~)	1
32	国設御岳 — おんたけ(1989)— おんたけ2240(2008~)	2
35	乗鞍高原温泉 — Mt. 乗鞍(2011~)	1
37	爺ガ岳 — HAKUBA VALLEY 爺ガ岳(2014~)	1
38	ヤナバ — ヤナバスノーパーク(2011)— HAKUBA VALLEY ヤナバスノーパーク(2015)	2
39	サンアルピナ鹿島槍 — スノーベース 21 サンアルピナ鹿島槍(2002)— サンアルピナ鹿島槍(2003)— 鹿島槍スポーツヴィレッジ(2011)— HAKUBA VALLEY 鹿島槍(2014~)	4
40	サンアルピナ佐野坂 — サンアルピナ白馬さのさか(1997)— 白馬さのさか(2011)— HAKUBA VALLEY 白馬さのさか(2014~)	3
41	八方尾根 — 白馬八方尾根(1993)— HAKUBA VALLEY 白馬八方尾根(2014~)	2
42	Hakuba47(1990)— 白馬47(1992)— Hakuba47 ウィンタースポーツパーク(1998)— HAKUBA VALLEY Hakuba47 ウィンタースポーツパーク(2014~)	3
43	五竜とおみ — 白馬五竜とおみ(1993)— 白馬五竜(1997)— HAKUBA VALLEY 白馬五竜(2014~)	3
44	岩岳 — 白馬岩岳(1993)— 白馬岩岳スノーフィールド(2011)— HAKUBA VALLEY 白馬岩岳スノーフィールド(2014~)	3
45	梅池高原 — HAKUBA VALLEY 梅池高原(2014~)	1
46	白馬乗鞍国際 — 白馬乗鞍(1990)— 白馬乗鞍温泉(2006)— HAKUBA VALLEY 白馬乗鞍温泉(2014~)	3
47	コルチナ国際 — 白馬コルチナ国際(1989)— 白馬コルチナ(2011)— HAKUBA VALLEY 白馬コルチナ(2014~)	3
51	国設飯綱リゾート — いいづなリゾート(1991~)	1
52	国設黒姫 — 黒姫高原(1990)— 黒姫高原スノーパーク(2001~)	2
54	山田温泉 — 山田温泉チビッコ(2000)— 山田温泉(2005)— 山田温泉キッズスノーパーク(2008~)	3
55	山田牧場 — YAMABOKU ワイルドスノーパーク(2008~)	1
56	戸狩 — 戸狩温泉(1997~)	1
57	北竜湖 — 北竜湖ファミリー(1990)— いいやま北竜温泉ファミリー(2006)— 北竜温泉ファミリー(2008~)	3
67	(志賀高原)タンネの森 — (志賀高原)タンネの森オコジョ(1993~)	1
75	(志賀高原)渋峠 — (志賀高原)フォーイースター渋峠(1994)— (志賀高原)渋峠(1995~)	2
78	北志賀よませ — よませ(1992)— よませ温泉(1999~)	2
79	北志賀竜王 — 北志賀高原竜王(1992)— 竜王スキーパーク(1996~)	2
80	北志賀小丸山 — 小丸山(1993~)	1
81	北志賀高井富士 — 高井富士(1992)— X-JAM 高井富士(2010~)	2
82	木島平 — 北信州木島平(1996)— 木島平 EAST(2007)— 北信州木島平(2008~)	3